

今こそ！笠間育ち②

安心、新鮮、おいしいを支える地元農業の紹介コーナー。食の安全が第一に求められ、農産物への関心もますます高まる今こそ、地元農家の実力発揮のとき！旬の情報をお届けします。



◀実を付け始めた枝を見つめる梅農家の小松崎榮さん(泉)

梅栽培を始めて今年でなんと49年目という小松崎さん。「いい梅ができるように毎日畑に来ているよ。今日は草刈り。」と、はつらつと語っていました。元気の秘訣は、毎日ポットに入れてきて、畑で飲む自家製の梅ジュースだそうです。



▲収穫間近の青梅

小松崎さんの75アールもの梅林では、白加賀・十郎・南高・杉田・小梅の5品種が栽培されています。

「梅は三毒（食べ物、水、血の毒）を絶つ」とも言われ、その効用は古くから伝えられています。抗菌効果、疲労回復などの効能が認められています。

このコーナーで紹介された農産物については、本所農政課（内線525）にお問い合わせください。

県内一の笠間の梅

ご存知でしょうか。笠間市は、生産面積、収穫量ともに県内一の梅の産地です。笠間市内には、76軒の梅栽培農家があり、市全体で86㌔もの栽培面積を誇っています。青梅の出荷は、5月末から6月いっぱい。それぞれの農家は、作業しやすく、各枝にまんべんなく日が当たるようにと、剪定と手入れに苦勞を重ねています。それが、すがすがしい香りが漂う青梅の安定した収穫につながっています。

笠間市では、毎年6月下旬ごろ、手作りの梅ジュースなどを作る梅まつりが愛宕山のスカイロッジで開かれています。

花香る梅林▶

愛宕山の斜面を利用して、栽培されている梅林。花咲く頃は、まるで白い炎が広がっているよう。



広報ギャラリー

●申込み・問合せ

〒309-1792

笠間市中央 3-2-1

笠間市役所市長公室秘書課 広報広聴グループ

このコーナーでは、皆さんのお気に入りの作品を紹介させていただきます。絵画・書道・俳句・短歌・写真・イラストなどの作品を募集しています。必ず住所・氏名(ペンネームの場合、本名も併記)を記入し、お送りください。掲載させていただいた人には、薄謝を進呈します。

花つっじ佐白北山愛宕山
山崎 久三(美原)

卯月かな孫が身丈やつくづくし
横山 静恵(下郷)

千支の子の金と銀との一夫婦
笹島 寅(大橋)

俳句

父親にメールで会話す孫娘
電話で繋ぐも秒の絆ぞ
肘井 孝之(下郷)

短歌

笠間市の桜巡りを問うあらば
北山佐白愛宕の横綱
伊藤 洋子(大田町)

人口と世帯数 (常住人口 4.1 現在)

●人口	80,505 人 (-82 人)
●男	39,412 人 (-55 人)
●女	41,093 人 (-27 人)
●世帯数	27,750 世帯 (+84 世帯 (前月比))

○広報かさまに掲載されているあなたの写真を差し上げます。お問合せは秘書課(内線225)まで。



再生紙を使用しています。

○市ホームページモバイル版では、行政・災害などのさまざまな情報をお届けしています。

アドレス

<http://www.city.kasama.lg.jp/mobile/>

